

北埼玉の多くの園で卒園式が行われた3月23日は、粉雪が舞う寒さでしたが、その後は急に暖くなり、散歩道には野の花が咲き誇っています。

2023年度、北埼玉では合同リズム4回の他、少数園での交流も行いました。

### 合同リズム

【第1回】 7月25日(火) 会場：さくらんぼ・第2さくら

2会場に分かれてリズムをしたり、第2さくらの大きいプールに入ったりした後、第2さくらのホールに集まり、みんなでうたを歌いました。その後、自由の森学園の中高生の太鼓や民舞を観ました。

【第2回】 9月29日(金) 会場：さくらんぼ

感染症の流行で参加できない園もありましたが、生まれ月ごとに分かれて座り、運動会に向けてのリズムを楽しんだ後、園対抗綱引き大会で盛り上がりました。

【第3回】 11月29日(水) 会場：さくらんぼ・第2さくら

事前に各園の子どもたちの様子や悩んでいることを交流したうえで、さくらんぼの園庭に集まりました。感染症対策のため園ごとに座り、リズムとうたを楽しみました。午後は第2さくらのホールで、群馬中芸の劇「パンパネパンベむかしがたり」をみんなで観ることができました。

【第4回】 2月21日(水) 会場：南公民館

最後は全園でのびのびリズムがしたいと、広い会場を借り、生まれ月ごとに分かれて座りました。4、5月生まれの子どもたちから順に、ピアノの音に即座にとび出していき、精一杯自分の持っている力を出し切っていました。雨のため午後とも室内で綱引きやドッジボールを楽しみました。

馬頭琴を聴く会 会場：ふきのとう

参加：ふきのとう・さくら・さくらんぼ・第2さくら

2月9日(金)、ふきのとう保育園の芝生の斜面で思いきり体を動かした後、ホールに集まりました。ふきのとうの子のおばあさんやそのお友達が、きらびやかなモンゴルの衣装(デール)で迎えてくれました。

「スーホの白い馬」の大型絵本に合わせて、馬頭琴奏者の方が、時に柔らかに、時には激しく弾く馬頭琴の音色に、子どもたちは目を見開き、じっと聴き入っていました。最後にみんなで「スーホの白い馬」を歌いました。



### 年長担任の感想

◎交流リズムは刺激ももらえるいい機会でした。3回目の前に話し合いの場を設けて頂き、個々の気になる子の話を詳しく聞けて、担任以外の大人がどんな手立てをしたら良いのか確認できたことは良かったです。綱引きやドッジボールなど子ども同士の交流が増えてきたことで、次は負けないぞ!と雑巾がけを頑張ったりと、保育の活力にもなりました。色々な園の担任が関わるからこそ、終わった後などにクラスや子どものことを確認し合える場があると、より深まり学びになるのかなと思いました。

◎2月の合同リズムでは、それぞれの園の子どもたちが育っている姿を目の当たりにし、1年の重さを感じました。子どもたちは、他園の子と友達になり一緒に遊ぶことを楽しみにしていました。ドッジボールや綱引き、へび鬼など、負けたくないという気持ちが前に出て、本当に真剣勝負で、その姿は感動的でした。他園の友達の刺激を受け、大きく成長しました。